

第二復員局公報 第一五二號

昭和二十二年十一月四日(火)
第二復員局文書課

○令 達

復二第七九九號

元海防艦 竹 生
同、新 南

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十二年十一月一日

第二復員局長

○辭 令

九月三十日發令(復員廳)

復員事務官 一宮 義之(三三)

同 廣口 清輔(五二)

同 矢野 章(五〇)

同 田村 久三(四七)

通各

二十八號俸ヲ給スル

同 山代 勝守(七二)

通各

二十七號俸ヲ給スル

同 長屋 茂(七三)

通各

同 鹿江 隆(八三)

通各

二十六號俸ヲ給スル

同 同 同 同

鹿原 實(四七)
末國 正雄(四五)
伊藤 泰介(四五)
三澤 千一(三八)

通各

二十五號俸ヲ給スル

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

東 谷 日出夫(七八)
長 谷 宗次(八〇)
大 石 宗次(八〇)
中 山 親孝(八〇)
中 島 義三(八四)
杉 山 敏三(八四)
土 肥 一夫(八〇)
寺 井 義吉(八八)
福 田 兼吉(八八)
笹 藤 祐生(八六)
佐 藤 雄生(八六)

通各

二十四號俸ヲ給スル

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

志 垣 郁雄(三七)
朝 倉 幸平(三〇)
吉 村 力藏(三〇)
猿 田 泉藏(三〇)
宮 崎 卯三郎(三〇)
岸 本 茂治(三〇)

第二復員局公報 第一五二號 昭和二十二年十一月四日

二〇七

二十六號俸ヲ給スル	同	小國寛之輔(五三)	二十六號俸ヲ給スル	同	吉岡清作(七七)
通各	同	齋藤明(八三)	同	同	阿賀谷又一郎(九七)
二十五號俸ヲ給スル	同	堀一郎(八四)	二十五號俸ヲ給スル	同	佐川長太郎(召)
通各	同	高橋正則(三六)	通各	同	小林虎太(〃)
二十四號俸ヲ給スル	同	岡山米三(三六)	二十四號俸ヲ給スル	同	標俊平(〃)
通各	同	岡戸焔太郎(特)	二十四號俸ヲ給スル	同	菊地主次(五九)
二十三號俸ヲ給スル	同	岩本平作(〃)	二十號俸ヲ給スル	同	同
通各	同	白水輝良(六七)	通各	同	同
二十一號俸ヲ給スル	同	今泉豊次(九七)	十九號俸ヲ給スル	同	同
十八號俸ヲ給スル	同	小山武雄(四六)	十三號俸ヲ給スル	同	同
通各	同	西尾駿一(七八)	二十二號俸ヲ給スル	同	同
十三號俸ヲ給スル	同	櫻井達雄(三〇)	二十號俸ヲ給スル	同	同
通各	同	林徳一(特)	九	復員事務官	同
十四號俸ヲ給スル	同	山崎康弘(三五)	二十四	同	同
通各	同	中神信男(三五)	二十九	同	同
二十七號俸ヲ給スル	同	岩田清治(七)	二十	同	同
通各	同	大須賀貞材(九)		同	同

第二復員局公報 第一五三號 昭和二十二年十一月四日

二〇九

第二復員局公報 第一五三號

昭和二十二年十一月六日(木)
第二復員局文書課

○ 通 牒

二復人第二號ノ七八

昭和二十二年十月三十一日

第二復員局人事部長

關係各廳長殿

二級官以下ノ免官願書書式ノ件照會

首題ノ件爾今左記ノ通り定メラレタカラ可然取計ラハレ度イ。

記

一 免官希望者(三級官以下ヲ除ク)ハ別紙ノ様式ニヨリ退官願書ヲ作り順序ヲ經テ當部ヘ送付スルコト。

二 依願免官ノ理由ハ左記ノ辭句ノ中、本人ノ該當スル何レカヲ使用スルコト。

1 官ノ業務縮少(終了又ハ定員改正)ニ件イ

2 病氣ノクメ

(註) 「一身上ノ都合ニヨリ」等ノ從來使ツテ居タ漠然ト

シク辭句ハ使ハナイコト。

三 免官辭令ハ第二復員局公報ニハ掲載スルガ、官報ニハ掲載

サレナイコトニナツク。

(別紙)

第二復員局公報 第一五三號 昭和二十二年十一月六日

退 官 願

コノ度 (理由ヲカク)

退官致シ度イカラ御許可相成リ度イ

昭和 年 月 日

職

官

氏

名

印

第二番電(昭和二十二年十月二十九日發電濟)
發 經理部長
宛 部内一般

俸給支給日特例等ニ關スル件

一 本年十一月分ノ恒例諸給與(食料ヲ除キ且暫定加給ノ臨時
増給ハ六割トスル)ノ支給日ハ十一月一日ニ繰上ゲラル。

二 本年六月十二日第一番電(六月十六日公報參照)中「四月
乃至十月」ヲ「四月乃至十一月」ニ改メル。

二復經主第二號ノ一四一

昭和二十二年十一月一日

第二復員局經理部長

關係各廳長殿

二二二

第二復員局歳入歳出事務取扱要領ノ件通牒

首題ノ件復員局第二復員局歳入歳出事務取扱要領ヲ左ノ通り改正シ適用スルコトニ定メラレタカラ、了知アリタイ。

題名ヲ「第二復員局歳入歳出事務取扱要領」ニ改メル。

第一條中「復員廳」、「同廳」及「七」（以下第二復員局經理部長ト稱スル）ヲ削ル。

第六條中「第十八條乃至第二十三條」ヲ「第十七條乃至第二十二條」ニ改メル。

第十一條中「小切手ヲ振出シタトキ」ヲ「小切手ヲ振出シヌハ國庫金振替書ヲ發シタトキ」ニ改メル。

第十八條中「過年度支出ニ屬スル經費」ノ下ニ「臨時軍事費特別會計及ビ舊海軍各特別會計ノ未拂債務ヲ含ム」ヲ加ヘル。

別表第一、計算報告書類表中、現金拂込仕譯書ノ項、備考欄「第二十四條」ヲ「第二十三條」ニ改メル。

（参照 四月十八日第二復員局公報）

二復員主第二號ノ一四二

昭和二十二年十一月一日

第二復員局經理部長

弁責金前渡官吏殿

出納官吏事務規程第二十七條但書ノ規定ニヨ

ル金額ノ指定ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り定メラレタカラ、了知サレタイ。

（別紙）

會送第一〇六九號

昭和二十二年十月二十日

内閣總理大臣

第二復員局經理部長殿

出納官吏事務規程第二十七條但書ノ規定ニヨ

ル金額ノ指定ニツイテ

標記ノ件ニツイテ別紙寫ノトオリ大藏大臣カラ通知シテ來タカラ内閣所管ニ關シテハ標記金額ヲ左記ノトオリ指定スルカラ御

承知サレタイ。

三萬圓

記

藏計第五七二號

昭和二十二年十月十四日

大藏大臣 栗栖越夫

内閣總理大臣殿

出納官吏事務規程第二十七條但書ノ規定ニヨ

ル金額ノ指定ニツイテ

出納官吏事務規程第二十七條但書ノ規定ニヨリ、出納官吏が

常時小口ノ現金支拂ヲスルタメ手許ニ保管スルゴトノデキル金

額ヲ左記ノ通り定メタカラ、御承知ノ上然ルベク御取計イ願イ

○郵便物發送先

試航船 榮昌丸 吳地方復員局氣付

○事務所

十月二十日残務整理終了 大竹掃海部残務整理班

十月三十日閉鎖 宇品上陸地連絡所

十一月一日開始 宇品上陸地連絡所残務整理班

廣島市宇品町凱旋館内

<p>二十號俸ヲ給スル 復員事務官 左 東 桑 藏</p>	<p>十月三十日發令(第二復員局) 復員事務官 中 森 龍 二(ヨシヨシ)</p>	<p>十三號俸ヲ給スル 復員事務官ニ任命スル 三級ニ敘スル 復員事務官 兼 川 義 一</p>	<p>四號俸ヲ給スル 第二復員局經理部勤務ヲ命ズル 復員事務官 兼 川 義 一</p>	<p>十月三十一日發令(第二復員局) 復員事務官 生 田 日 章 十九號俸ヲ給スル</p>	<p>十一月一日發令(第二復員局) 醫療業務囑託 矢 内 貞 夫(クニタ)</p>	<p>十一月五日發令(第二復員局) 舞鶴管船部勤務復員事務官 西 山 顯 一(三九五)</p>	<p>横須賀管船部勤務ヲ命ズル 同 花 田 賢 司(五二四)</p>	<p>同 同 山 田 綠 郎(六八八)</p>	<p>兼テ荒崎醫療業務ヲ囑託スル 佐世保管船部醫療業務囑託 古 閑 信 男</p>	<p>十一月六日發令(第二復員局) 二十 復員事務官 谷 田 部 久 左 衛 門 十八 同 兼 名 三 郎 各頭書ノ號俸ヲ給スル</p>	<p>○雜 款 ○郵便物發送先 特別保管艦 輸第十九號 横須賀市田浦局氣付 試 航 船 桑 榮 丸 吳地方復員局總務部掃海事務室 氣付</p>
-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	--	-------------------------	---	--	---

第二復員局公報 第一五六號

昭和二十二年十二月二十日(木)
第二復員局文書課

○令 繼

復二第八二〇號

元第四百四十七號檢送艦
右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解
ク。

昭和二十二年十一月十三日

第二復員局長

復二第八二二號

元第十一號掃海特務艇
右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解
ク。

元第十六號掃海特務艇

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解
ク。

元敷設特務艇 黒 神

右ノ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十一月十四日

第二復員局長

復二第八二三號

汽 船 東 亞 九
右ノ掃海船トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十一月十五日

第二復員局長

復二第八二七號

臺灣、朝鮮、千島、樺太、沖繩、小笠原群島等ニ本籍ノアル舊
海軍軍人軍屬デアツク者ノ復員關係事項終末整理要領ヲ別冊ノ
ヨウニ定メル。
別冊ハ所要ノ向ニコレフ配付スル。
昭和二十二年十一月十九日

第二復員局長

○辭 令

元海軍大佐 山ノ上 庄太郎 (一四五〇)
元海軍中尉 岡 田 登 (ヨリ八九二六)
同 伏 野 素 匡 (ヨク九三六八)
同 池 城 安 昌 (ヨリ八七四)
同 野 津 治 郎 (ヨク二九六)
右ハ九月十九日復員シタ

第二復員局公報 第一五六號 昭和二十二年十一月二十日

二一九

右八九月三十日復員シタ
元海軍中尉 内田久男(ヨシタニ)
元海軍軍醫少佐 中村良輔(ニホ)

元海軍軍醫中佐 長波國太郎(ニホ)
同 倉八研一(ニホ)
同 齋藤又三郎(ニホ)

右八十月一日復員シタ
元海軍大尉 稻田武夫(ヨシタニ)
元海軍中尉 森山幸晴(ヨシタニ)

右八十月三日復員シタ
元海軍中尉 赤平始(ヨシタニ)
同 小林榮一(ヨシタニ)
元海軍少尉 秋山久雄(ヨシタニ)
同 松尾進(ヨシタニ)

右八十月十七日復員シタ
元海軍技術中尉 福嶋宗二(ニホ)

右八十月十八日復員シタ
元海軍少將 澄川道男(ニホ)
元海軍大佐 田村榮次(ニホ)
元海軍中佐 吾郷繁重(ニホ)
元海軍軍醫大佐 種子田庸夫(ニホ)
元海軍軍醫中佐 岡村武夫(ニホ)

○雜款
○郵便物發送先

○事務所
十一月一日殘務整理終了
特別保管艦(生野、神津、倉橋、屋代、四阪、保高)
第四群殘務整理班

試航船 わかくさ丸 吳市下山手町吳地方復員局氣付
特別保管艦 (船第百十號、同第百四十七號、同第十三號)
同第九號、同第十六號、同第十九號
橫須賀市田浦町長浦
橫須賀管船部内第七群殘務整理班

第二復員局公報 第一五七號

昭和二十二年十二月二十四日(月)
第二復員局文書課

○令 達

復二第八三〇號

當分ノ間左ノ各號ノ一ニ該當スル用務ニヨツテ旅行スルトキハ別表ニヨツテ旅費ヲ支給スル。

- (イ) 聯合軍側ノ指令ニ基キ第二復員局ニ召致サレタトキ。
- (ロ) 残務整理又ハ事務引継ノ用務ニヨツテ旅行ヲ命ゼラレタトキ。

本令ハ、昭和二十二年十一月十五日ヨリコレヲ施行スル。

昭和二十一年官房經第七〇號ハ昭和二十二年十一月十四日限リコレヲ廢止スル。

昭和二十二年十一月十五日

第二復員局長

(別表)

區	分		額
	金	額	
鐵道賃(急行料ヲ含ム)			等
鐵道賃、車馬賃、口當、宿泊料及ビ食卓料			

車馬賃	一 粒ニ付	一 回
口當	一日ニ付	二十 回
宿泊料二夜ニ付	甲 地方	百 回
	乙 地方	七十五 回
食卓料	一夜ニ付	二十 回

備考

- 一 甲地方トハ東京都ノ區ノ存スル區域、京都市、大阪市、名古屋市、神戸市、横濱市ヲイフ。
- 二 乙地方トハ前記以外ノ地方ヲイフ。
- 三 一 粒ノ計算ハ一 哩ハ一・六 粒、一 哩ハ一・八五 粒、一 里ハ四 粒ト看做シコレヲ計算スル。

復二第八三五號
第二復員部内退職手当支給規則ノ一部ヲ次ノヨウニ改正スル。
昭和二十二年十二月二十日
第二復員局長

第二條中「俸給又ハ給料」ノ下ニ「暫定加給及ビ同臨時増給ノ合計」ヲ加ヘル。
第三條中「俸給又ハ給料」ノ下ニ「暫定加給及ビ同臨時増給

第二復員局公報 第一五七號 昭和二十二年十二月二十四日

二三二

1063

1063

<p>同 同 同 同 同 同 同 同 同 同</p> <p>藤野龍彌(六〇八七) 川原義孝(七九六二) 並河光雄(八四四六) 小玉太郎(三三三三) 土屋吉夫(五四七七) 上原吉夫(五四七七) 八木岡忠雄(五四七七) 小野源治(八三九九) 鈴木繁夫(八五〇九) 幸和夫(八五八三)</p>	<p>十月三十日發令(第二復員局)</p> <p>横須賀管船部勤務復員事務官 安島 榮(八三三〇)</p> <p>竹生乗組ヲ命ズル</p>	<p>十一月七日發令(第二復員局)</p> <p>横須賀管船部勤務復員事務官 小野 儀(一八三三)</p> <p>生名乗組ヲ命ズル</p>	<p>横須賀管船部勤務ヲ命ズル</p> <p>生名乗組復員事務官 井手 敏男(七三三三)</p> <p>復員事務官 大熊安之助(三六〇七) 武田新太郎(二六四五) 杉山 忠嘉(二七五八)</p> <p>二十三號俸ヲ給スル</p> <p>同 佐藤 精七(三二二二)</p> <p>二十一號俸ヲ給スル</p>								
<p>十九號俸ヲ給スル</p> <p>同 伊藤 治義(四六三三)</p>	<p>同 篠原 健次(五三三三)</p>	<p>同 松浦 光利(五四八八)</p>	<p>同 矢田 次夫(五六一八)</p>	<p>同 十時 正敏(五六一八)</p>	<p>同 岩澤 三千雄(六三三七)</p>	<p>同 柳澤 三千雄(六三三七)</p>	<p>同 篠原 實(七六四九)</p>	<p>同 清水 俊彦(七六四九)</p>	<p>同 石森市五郎(三三三三)</p>	<p>同 水田新太郎(三三三三)</p>	<p>十一月八日發令(第二復員局)</p> <p>復員事務官 大谷 功</p> <p>六號俸ヲ給スル</p> <p>願ニ依リ本官ヲ免ズル</p> <p>十一月十日發令(第二復員局)</p> <p>吳地方復員局附復員事務官 村野 正太郎(三七八三)</p> <p>鶴來機關長ヲ命ズル</p> <p>臨時荒塔乗組ヲ免ズル</p>

第二復員局公報 第一五七號 昭和二十二年十一月二十四日

二三三

十一月十一日發令(第二復員局)

二十六號俸ヲ給スル	復員事務官	山名寬雄(一九七)
二十一號俸ヲ給スル	同	永松熊一(二七三)
十八號俸ヲ給スル	同	菅井超(四九四)
十四號俸ヲ給スル	同	川原源三(六九二)
十三號俸ヲ給スル	同	並河義孝(七六二)
二十一號俸ヲ給スル	同	小玉光雄(八四六)
十八號俸ヲ給スル	同	土屋太郎(三二五)
十三號俸ヲ給スル	同	上原吉夫(五四七)
	同	八木岡忠雄(五四三)
	同	鈴木繁夫(八五九)

○事務所

十月二十五日殘務整理完了
特別保管繼海第六十七號、同第八十五號殘務整理畢

○取消
第一五〇號辭令欄中二〇四頁上段復員事務官中村 宏ノ辭令ハ
取消

○雜款

第二復員局公報 第一五八號

昭和二十二年十一月二十八日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第八四五號

元第十九號 輸送艦

元第一百二號 掃海艇

元敷設艇 巨 濟

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十二年十一月二十日

第二復員局長

復二第八四六號

元敷設特務艇 鷺 琦

右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタハヲ解ク。

昭和二十二年十一月二十四日

第二復員局長

第七番電 (昭和二十二年十一月二十七日發電済)

發 第二復員局長

宛 部内一般

臨時手當支給ニ關スル件

本年十一月二十五日現在内地ニ在ル第二復員部内各廳ニ勤務スル官吏、嘱託者、雇員及ビ傭人ニシテ暫定支給ノ支給ヲ受ケテイル者ニハ左ニヨリ臨時手當ヲ支給スル。

一 支給額

十月分及ビ十一月分トシテ現實ニ支給ヲ受ケル俸給、給料(報酬ヲ含ム以下同シ)、暫定支給、同臨時増給(六割)、臨時家族手當及ビ臨時勤務地手當ノ合計額ノ八分の一ニ相當スル金額(固位未滿ノ端數ハ固位ニ滿タシム)。

二 所得稅額

支給額ノ一割六分相當額

三 支出科目

給與特別措置費(目) 給與特別措置費(節)
四 各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員並ビニ金額)ヲ取纏メ十二月十日迄ニ第二復員局經理部長宛通報ノコト。

○辭 令

○左記ハ頭書ノ日附ヲ以テ免官サレク

記

昭和二十二年十一月十四日

復員事務官 奥 野

正(五三三)

第二復員局公報 第一五八號 昭和二十二年十一月二十八日

二二五

